

手賀の杜防災対策チェックシート



わが家の防災チェック

□災害の影響が著しくなった時、相互に連絡する方法を知っている

災害発生時、離れ離れになった家族との連絡方法を確認しておきましょう。災害直後は通信制限がされるため、携帯電話やメール等が使用できなくなります。NTT 災害伝言ダイヤル171、各携帯会社の災害伝言版等の使用方法を普段から確認しておきましょう。

お子様には、公衆電話の使い方を教えてあげましょう。また、常時公衆電話で使える10円玉や100円玉を持たせてあげましょう。

□避難場所や家族の集合場所が決まっている

手賀の杜地区の避難指定場所は、県立沼南高校又は風早北部小学校の校庭です。

自治会役員は沼南高校で住民受け入れを行います。北部小では役員による住民受け入れは行いませんのでご注意ください。なお、各校の体育館や校舎等屋内施設は避難場所に指定されておられません。（体育館は自宅が家屋崩壊等で被災し、住めない方々の避難場所になりますのでご注意ください。）

避難時は原則徒歩での移動となります。（学校校庭への車両乗り入れは了承されていません。）

避難所へのペットの同伴はできません。災害時にペットの保護をどうするか日頃から考えておきましょう。



わが家に備えておくもの

□食料・飲料水

食料品は普段から食べ慣れてるものが理想です。飲料水は1日1人3リットルが目安。例えば、家族4人なら一日12ℓ（2ℓペットボトルで6本）×3日分で18本（約3箱）。食料や飲料水は、他人に頼らないよう準備が大切になります。

断水時の手賀の杜地区近隣における応急給水施設の場所は、一丁目のひだまりの公園や岩井水源地です。この他に大津ヶ丘中学校も給水場になります。一人2ℓ受け取れます。大渋滞で給水を受けられないケースを避けるために、車両での訪問は避けてください。給水タンクや頑丈なプラスチック袋等を用意し、台車やスーツケースに入れ、押して運びましょう。

□トイレ

トイレは断水時だけでなく、下水管破損等で使用できなくなります。災害用トイレ（便袋・凝固剤・消毒剤のセット）を半月～1カ月分用意しましょう。衛生面からも、自宅の

トイレを家族で使えるのが一番よいでしょう。

なお、お風呂の水を常時張っておくことにより、断水時のトイレや洗濯水として重宝します。しかし、下水管破損時にはトイレの汚物は流せなくなるので、災害用トイレの準備が大切になります。



非常時に持ち出すもの

□身に着けるもの

非常時持ち出し衣類は、夏でも長袖・長ズボンを用意しましょう。避難所で入手が困難な品物（常備薬、眼鏡・コンタクトレンズ、入れ歯、補聴器、歩行杖等）は、事前に準備し、常時持ち出せるようにしましょう。

□感染対策用品

マスクを持っていない場合は、鼻と口を覆える大きさの手ぬぐいやタオル等も代わりに使えます。アルコール消毒がない場合、ウェットティッシュも使えます。マスク等は不足する状況が続くと、自治体や避難場所では備蓄品が不足するところも多く、できれば自分で用意しておきましょう。

新型コロナウイルス感染症については、感染経路が特定できない新規感染者が報告されるなか、大規模な地震や台風、豪雨などの風水害時には、多くの住民の方々が避難する避難所に行くには、各々の感染対策が必要です。

□その他日用品や貴重品

災害発生時に慌てて用意することのないよう常時置き場所や持ち出す際の工夫をしておきましょう（携帯ラジオ、筆記用具、現金・貯金通帳、身分証明書・運転免許証、健康保険証等）。